



総合的な
学習の時間

健康な生活のために

～Health living I see you～

関連するSDGs

3

GOOD HEALTH
AND WELL-BEING

4

QUALITY
EDUCATION

6

CLEAN WATER
AND SANITATION

①氏名：平山 将典

②学校名：中富良野町立中富良野小学校

③学年：3学年(19名)

④実施教科(領域)：学活、保健体育、総合的な学習の時間

【実施概要】

1. 単元名(活動名)：健康な生活のために ～ Health living I see you ～
2. 単元の目標（評価規準を意識して設定） ・ザンビアの生活や文化に興味関心をもち、日本との相違点や共通点を見つけ、それぞれの国の良さや課題に気付くことができる。 ・ザンビアの感染症やその対策について現状を知るとともに、自分たちの生活を振り返ることで自らの健康への意識を高めることができる。 ・正しい手洗いの普及のために、どうしたらより多くの人に手洗いの必要性を感じてもらい、手洗いをしてもらえるかを考え、歌や劇、ポスターにして他学年やザンビア人に紹介することができる。

3. 単元の 評価規準	①知識及び技能	ザンビアと日本との相違点や共通点を見つけ、それぞれの国の良さや課題について気付くことができる。
	②思考力、判断力、表現力	ザンビアの感染症やその対策について現状を知るとともに、自分たちの生活を振り返ることで、自らの健康への意識を高めることができる。
	③主体的に学習に取り組む態度	ザンビアで手洗いを普及させるためにはどうしたらいいか考えようとすることができる。
4. 単元設定の理由・単元の意義 (児童/生徒観、教材観、指導観)	【単元設定の理由】 ・水力発電が9割を占めるザンビア。電力のほとんどを水力発電に頼っているため、雨の降らない乾季は計画停電が日常茶飯事。また、干ばつの被害やコレラなどの問題も生じる。しかしながら、様々な課題と向き合うザンビアの人々が不幸せなのかといえば、そうではない。課題と向き合い、一生懸命勉強している子どもたち、それを支える大人たちがいた。そんな前向きに生きる勇敢な彼らの姿、課題解決に向けて取り組んでいることを日本の子どもたちにも伝えたい。 【単元の意義】 ・本単元は、手洗いや体を清潔にすることの重要性をテーマとした保健体育の要素が大きい。恵まれない環境で毎日を懸命に生きる姿、工夫した生活や知恵など、WASH プロジェクトの「ジコランガ」の子どもたちを通して、手洗いの重要性について改めて考える機会にする。 参照：「ジコランガとは」 17 ページ 【児童／生徒観】 ・みんな元気でおしゃべり好きでよく発言する。7月に給食アンケートを実施したところ、	

	食べる前に石鹸で手を洗う人は 60%と、コロナが落ち着いたとはいえ、かなり低い結果である。このことから、ザンビアの人たちの生活や WASH プロジェクトの実践を知る学習を通して、手洗いの重要性を改めて考えるきっかけにする。単元の終わりには、ザンビアで手洗いをどう普及させたら良いかについて、自分ごととして考えてもらい、手洗いに対する意識をより高めていく。 【指導観】 ・ アフリカというと大人はネガティブなイメージを抱くが、まだ小学 3 年生の児童はアフリカがどんな土地なのかイメージさえついていない。そんな児童にザンビアの良い面や素晴らしさを伝え、子どものうちにポジティブな印象を持ってもらう。そうすることで、児童一人一人が外国に興味を持ったり外国人と自然にコミュニケーションしたりする素地を養いたい。そのために、まずはカードゲームやクイズで楽しみながらザンビアについて理解する。また、ザンビアで手洗いを普及させるためにどうしたらよいか、動画や漫画、面白い商品の開発など考え、いつの間にか手洗いの重要性を自然と認識し、自分たち自身も当たり前のように手洗いをする習慣を身につけさせる。
--	--

5. 単元計画（全 8 時間）			
時	ねらい	学習活動	資料など
1	○ザンビアの生活や文化に興味関心をもつ。	・ マッチングゲームでザンビアという国の特徴について知る。また、日本とザンビアの似ている所や異なる所を楽しみながら感じる。 ・ ワークシートに日本と似ている所や異なる所を記入する。 ・ クイズでザンビアについての理解をさらに深めていく。	・ マッチングゲーム ・ クイズ ・ ワークシート
2 本時	○汚水等で苦しみながらも前向きに生きるザンビアの人たちの生活や暮らしを理解する。	・ 体調を崩す人たちが後を絶たない様子を把握し、どのようにして健康的な生活を改善したのか、数枚の写真をヒントにしながら物語の続きを考える。 ・ 紙芝居を通してザンビアの実情を知り、現地で生きる人たちの知恵やたくましさ共感する。	・ 紙芝居 ・ ザンビアの写真 ・ タブレット端末
3	○正しい手洗いの仕方や手洗いの重要性を理解する。	・ ブラックライトを活用し、手洗いがしっかりできているか確認する。 ・ 手洗いの正しいやり方を覚える。	・ ブラックライト ・ ワークシート ・ 動画
4 ～ 8	○正しい手洗いの普及のために、どうしたらより多くの人が手洗いをしてくれるか、手洗いの必要性を感じてもらえるか考え、歌やポスターにして他学年やザンビアの人たちに紹介する。	・ どうしたら手洗いが普及するか考える。 ・ 手洗いの歌を作るチーム、ポスターで呼びかけるチームなどに分かれる。 ・ 各チームどのような内容で、手洗いの重要性を伝えるか考える。 ・ 伝える内容を吟味してから、歌やポスター、動画を作成する。 ・ 作成した成果物を互いに紹介する。また、他学年などにも紹介する。	

6. 本時の展開 (2 / 8) 本時のねらい： 紙芝居の続きを考えることで、ザンビアの人々が感染症からどのように身を守り、健康な生活を取り戻したのか理解することできる。			
過程・時間	教師の働きかけ・発問および学習活動	指導上の留意点 (支援)	資料 (教材)
導入 (12分)	1、紙芝居を読む。 「ザンビアの紙芝居を読みます。」 「～1ヶ月後、みんな元気になりました。おしまい。」 ・え？なんで元気になったのかわからない。 ・1ヶ月の間に何があったのだろう。 2、本時の課題を確認。	主人公が病院に入院して1ヶ月後、みんな元気になって紙芝居を閉じることで、なぜ元気になったのか自然と疑問を抱くようにする。	オリジナル紙芝居 参照:107～110 ページ
どのようなたいさくをしてけんこうな生活を取りもどしたのか、物語のつづきを考えよう。			
	「物語のあらすじを確認しましょう。」 ・ダニエルはサッカーが好き。 ・大雨で街や家が汚れた。 ・下痢や吐き気で体調を崩す人が増えた。 など 3、ヒントカードの提示。 「物語の続きを考えるためにヒントカードを用意しました。3～5枚選び、並び替えましょう。できた人は吹き出しに言葉を書き入れましょう。」	体調を崩す原因となるイラストを多く提示する。 ABC の 3 枚の中から 1 枚か 2 枚必ず入れることで、思考しやすくする。	タブレット端末 複数の写真 ヒントカード 参照: 111、112 ページ
ヒントカードの内容 A (薬を飲む) B (川の浄水) C (手洗い) D (きれいな水の使用) E (きれいな川) F (睡眠) G (汚い川) H (食事) I (医者と面談)			
展開① (8分)	4、個人思考。 「では、カードを選び、並び替え、吹き出しに言葉を書いてみましょう。」 5、ペア交流。 「となりの人と意見交流をしましょう。」 発問: 交流してみてどうでしたか。	自信のない児童には、個別で支援する。	
展開② (15分)	・難しかった。・同じカードなのに順番が違ったり、言葉が違ったりして面白かった。 「一人の人と話ただけで面白かったということは、いろんな人と話すともっともっと面	自由起立で交流。意見と理由を話せるように、対話の仕方を確認する。 交流の途中で意見を変えても良い。	

	白くなりそうですね。では、5 人以上の人と意見交流できるようにしよう。」		
	6、クラス全体で交流		その他有効な発問 「どうして薬のカードを選んだの？」 「どうして手洗いのカードを選んだの？」 「どうして水のカードを選んだの？」 「面白いと思った意見ありましたか？」
	発問：交流して何か気づいたことや感想はありますか。		
展開③ (8分)	・〇〇さんは水に関係するカードを中心に選んでいた。 ・食事をしっかり摂ることは大切。 ・十分に寝ることも大切だと思った。 ・きれいな水で手洗いすることが大事。 ・薬も大切だね。 7、ティッピータップ（手作り手洗い場） 「ザンビアの人たちがどうやって元気を取り戻したのか、実は先生が撮った写真にヒントがあります。」 ザンビアの人は手洗いで健康になった。 手洗いは日本でもしていますよね。手洗いを大切にする点はザンビアと日本、同じですね。	児童相互の意見を繋いだり、他者評価を入れたりしてクラスの信頼関係や自己充足感を得られるよう、児童の意見を全て肯定する。 ティッピータップは子ども達自身で作った点や手洗いなどを徹底した人たちが、今年大流行したコレラに罹患しなかった点にも触れる。手洗いや体を清潔にすることで、健康な生活ができるようになった点を強調。	写真 (ティッピータップ) 
	発問：手洗いをする、なぜ健康になれるの。		
まとめ (2分)	・手についたばいきんがなくなるから。 ・ばいきんがある手で食事しなくなったから。 8、本時の振り返り		
7.評価規準に基づく本時の評価（評価方法） ・ザンビアの人々は、どのような対策をして健康的な生活を取りもどしたのか、物語の続きを考えることができる。（タブレット端末、発表）			

【参考資料】

ジョン・スノウ著 山本太郎訳（2022）『コレラの感染様式について』岩波書店
 沖大幹（2021）『いま「水」を考える 3 水の安全・危険』岩波書店
 藤田紘一郎（2002）『コレラが街にやってくる』朝日新聞社
 島田周平（2020）『ザンビアを知る為の 55 章』明石書店

【外部との連携】

北海道大学 山内教授 佐井教授 ニャンベ教授
 ザンビア 草の根 WASH プロジェクト ジコランガメンバー
 手作り石鹸サロン olieve 舟崎恵美

【自己評価】

苦勞した点	・ 紙芝居は初めて作ったので、どのようにして物語の意図や仕掛け、最低限伝えたいことなどを盛り込めばいいか悩んだ。 ・ 児童の多様な考えを表現するために、どのようなイラストをヒントとして与えたらよいか考えた点。 ・ 授業の終末をどのようにするかについて。教師が伝えたいことを教え、まとめるのか、それとも児童の意見をたくさん聴いて終わりにするのかという点。 ・ ザンビアと日本、それぞれの良さや課題など、教師側に伝えたいことが多すぎる点。 ・ 児童がザンビアに対して興味関心を持つことができるように、なるべくポジティブな印象を抱くような写真の選定やネガティブな情報も補足するなどを行った点。
改善点	・ 「薬が苦い」「手洗いは冷たい」などネガティブな言葉を記入していた児童に対してあまりいい返しができなかった。なぜ苦いのに飲むの？なぜ冷たいのを我慢して手洗いする必要があるの？と尋ねることで、本人や他の児童の理解も深まったと感じた。
成果が出た点	・ 児童にとって、1 時間目のマッチングゲームを通した活動が好感触だったため、本時の授業も始めから紙芝居を真面目に聴いたり、学習活動に意欲的に参加したりすることができた。 ・ 授業の終末を子ども達の気付きや感想を発表する時間を増やしたことで、子ども達が自分事として捉えていることが分かり、理解が深まっていると感じた。
学びの軌跡 (児童生徒の反応・感想文・作文・ノート等)	・ 食事が大切だと思った。理由はしっかり食べないと栄養が取れなくて体が弱るから。食べるときに素手ではなく、フォークやナイフを使うことでばい菌が体に入らない。 ・ 汚い川の水を使うと手を洗っても汚れるだけだから、水をきれいにすることが大切だと思った。 ・ ご飯を食べる前にならず手を洗おうと思った。 ・ 薬を飲むことで、元気になる。 ・ 日本でも（ばい菌が原因で下痢や嘔吐などをする人が）あるから、これからは色んな事に注意していきたい。自分でもザ

	ンビアの事など家庭学習で調べて書こうと思った。 ・ はじめて聞くお話は見えて楽しかったけど、自分たちにそれが起こったらどうなるんだろうと思うとびっくりして動けなくなると思うから主人公がすごいなと思った。 ・ みんな人それぞれちがう意見だった。色んな意見があって面白い発見があったりしてよかった。
授業者による自由記述	どのような授業内容にするか、最初から最後までアドバイザーの意見ばかりに頼っていたので、まだまだ授業の見方、考え方、教材研究の仕方が浅いと痛感した。しかし、私がザンビアで感じたことや伝えたいことは一部ではあるが、学習活動やふり返りを通して児童に伝わっていた。また、「ザンビアに行きたい」「ザンビアすごい」などポジティブな感想を持つ児童が多かったので、ザンビアに行って教材研究をして今回の授業を創ることができて本当に良かった。
次年度以降の取組予定	普段の授業とは比べものにならないくらい、児童は大変意欲をもって学習することができた。今回は手洗いをテーマとした授業であったが、今後はゴミや水など現代の課題に関連した授業も実践していく。また、違う学年でも今回のような授業ができるように指導案の流れや手立ても変え、今後も開発教育・国際理解教育の実践を積み重ね、子ども達の外国と日本に対する見方や考え方を広げていきたい。

進行の スライド



教材：紙芝居①&②

進行のスライド
2～16 ページ目

参照：紙芝居①&② 次ページより

(教材：紙芝居①) スライド内2～9 ページ

紙芝居本文①

これは、アフリカの南部にあるザンビアという国のお話です。ある小さな街に1人の少年ダニエルがいました。ダニエルは小学校3年生。勉強は得意ではありませんが、運動は得意。中でもサッカーは大好きです！！いつも近所の子ども達が集まるグラウンドへ行ってサッカーをして遊んでいました。今日もたくさんシュートを決めたダニエルは大満足。

サッカーが終わり、家に帰るときも、「昨日のザンビア対韓国の試合見た？」「勝ってたのに逆転負けしちゃったよな」、と友達とサッカーの話で大盛り上がり。楽しい時間を過ごしながら家に帰ってきました。

ダニエルは「ただいま」と自分の家に入るなり、「お母さ～ん、おなかすいたよう」と言いながら、そのまま食事が用意されているテーブルに座り、手に取ったパンをすぐに食べました。「お父さん、ぼくね、今日のサッカーのゲームで5点も取ったよ」「ダニエルは本当にサッカーが好きなんだな。将来はプロサッカー選手にでもなるのか？」「あたりまえでしょ！」こんな感じで、今日も家族みんなで集まり、いつも通り会話を楽しみながら、お母さんが作った手料理をおいしくいただきました。

そんな家族が幸せに暮らすこの町に、ある日、経験したことがない大雨が襲ってきました。まるで滝に打たれているかのようなものすごい雨、瞬く間に町は水で溢れてしまいました。急いで町の人たちは、近所の教会や学校に避難。ダニエル一家も急いで避難しました。避難してから1時間もしないうちに家はあっという間に水没してしまいました。その夜、大雨の影響で停電し、明かりもない学校でダニエル一家は不安な夜をやりすごしました。「お父さん、僕たちこれからどうなるの？」ダニエルは小さな声でつぶやき、お父さんに抱きつき、いつの間にか眠ってしまいました。

次の日の朝、外に出ると、町中を飲み込んだ水はもうすっかりなくなっていました。しかし、町中は大量の泥やごみで埋め尽くされ、どの家庭も、家の中は水浸しになりたくさんの物が流されてしまいました。すっかり姿を変えた町の様子を見て、「これから僕たちの生活はどうなるの？」とダニエルが言いました。するとお父さんは、「さあ、みんなで片付けようか。いつまでもくよくよ考えたって町はもどらないぞ！」お父さんの一言で、ダニエルは勇気が湧いてきました。町のみんなも、家の掃除や外の泥やゴミを一生懸命片付け始めました。それから数日後、以前の町の姿に少しずつ戻ってきました。そしてなんとか今までの生活ができるようになりました。



スライド内 2 ページ目で表示



スライド内 3 ページ目



スライド内 4 ページ目



スライド内 5 ページ目



スライド内 6 ページ目



スライド内 7 ページ目



スライド内 8 ページ目



スライド内 9 ページ目

(教材：紙芝居②) スライド内 10～16 ページ

紙芝居本文②

ダニエルは1週間ぶりに学校へ行き、久しぶりにみんなと会えるのを楽しみにしていました。しかし、この日の学校は、いつもと違っていました。もうみんな元気に登校しているのだろうと思っていたのに、学校に来た人数はぼくを含めてたった20人。いつもは1000人くらいいるのに。とても仲良しにしているジコモくんも学校に来ていました。「ねえ、ジコモくん、何で今日はこんなにお休みが多いのかな」と聞いてみました。すると、ジコモくんは「先生から聞いたんだけど、みんな吐き気や下痢がひどくて学校に来ていないんだって。・・・だから今日は学校がお休みになるんだよ」と教えてくれました。ダニエルは残念に思い、仕方なく帰りました。

帰っていく道中、ムリブワンジ病院には、十台以上の救急車が行き来していました。そしてたくさんの病人が運ばれていました。「何が起きたんだろう？」ダニエルは徐々に不安になってきました。ぼくの家族は大丈夫なのだろうか。慌てて家に帰ったダニエルは、すぐさま「ただいま。みんな大丈夫？」と玄関のドアを開けて家に入ると、お母さんがお腹をおさえながらトイレでうずくまり吐いていました。妹はお母さんの看病をしていましたが、妹も急に吐き気がひどくなり、倒れてしまいました。ダニエルは必死にお母さん、妹の面倒を見てお父さんの帰りを待っていましたが、やがて自分も…。どうやらひどい吐き気に襲われ、気を失ってしまったようです。

目を覚ますと、うすいピンクの天井が見えました。ここはどこだろう？そう思ったとき、横から「よかった！もう大丈夫だよ」というお父さんの声が聞こえました。「ここは病院だから。ゆっくり休みなさい」ダニエルが気を失ったその後すぐに、お父さんが家に帰ってきて救急車を呼び、病院に連れてきてくれたという事でした。

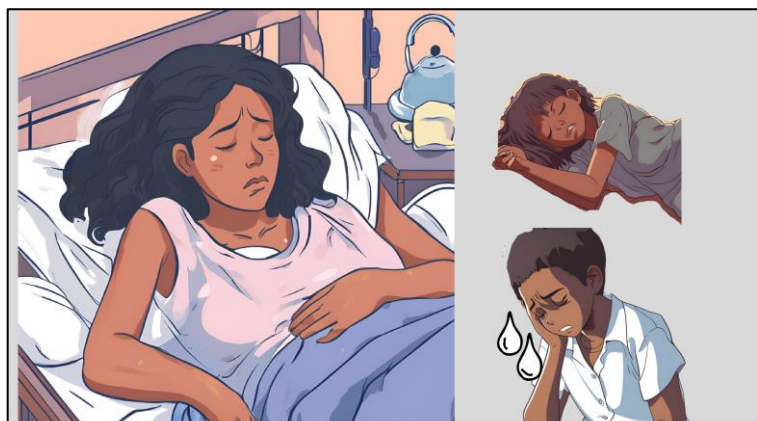
1ヶ月後、ダニエルも町のみんなも、元気になりました。



スライド内 10 ページ目で表示



スライド内 11 ページ目



「ただいま。みんな大丈夫？」と玄関のドアを開けて家に入ると、お母さんがおなかをおさえながらトイレでうずくまり吐いていました。

スライド内 12 ページ目



スライド内 13 ページ目



スライド内 14 ページ目

1ヶ月後…

スライド内 15 ページ目



スライド内 16 ページ目

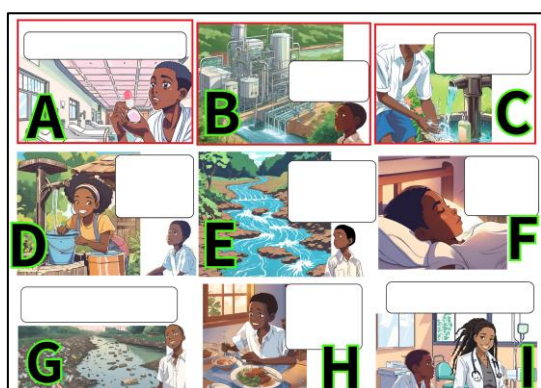
スライドの続き



今日のめあて

どのようなたいさくをして、けんこうな生活を取りもどしたのか、物語の続きを考えよう。

ヒントカード9枚用意しました
3～5枚のカードで物語を考えてください

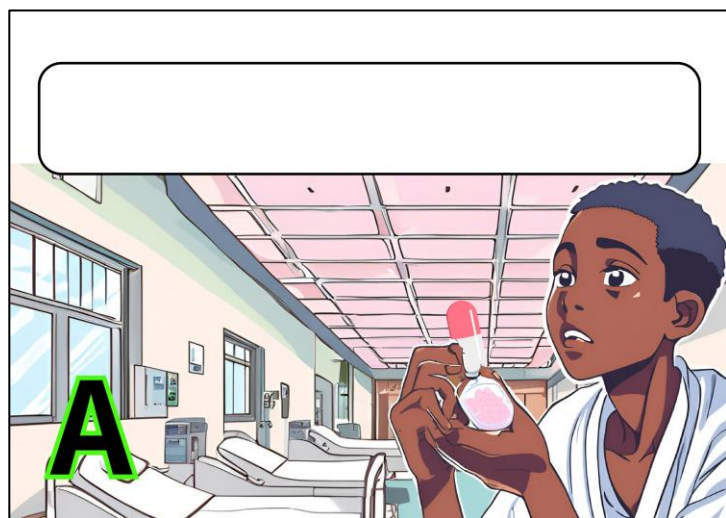


(教材：ヒントカード A～I)

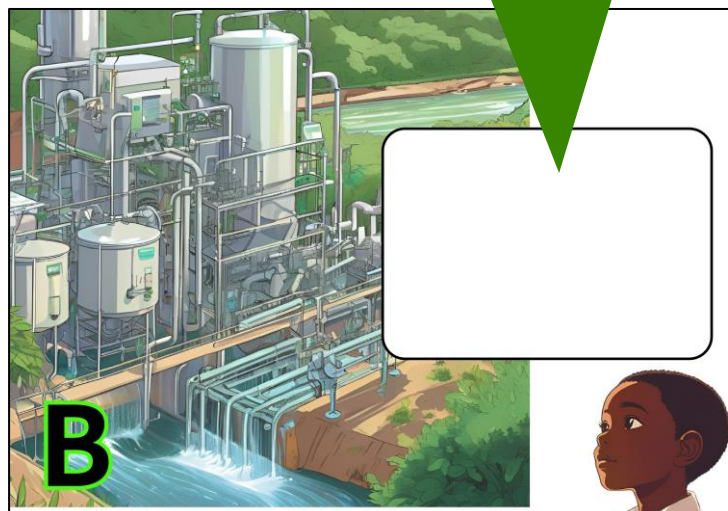
スライド内 20～28 ページ

ヒントカードを並べかえた後は

この枠の中に、セリフや言葉を書き入れ、ストーリーをつくります。



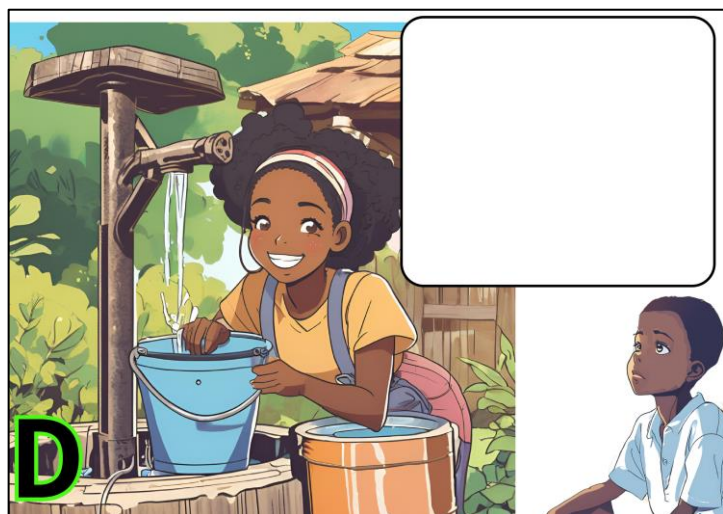
スライド内 20 ページ目で表示



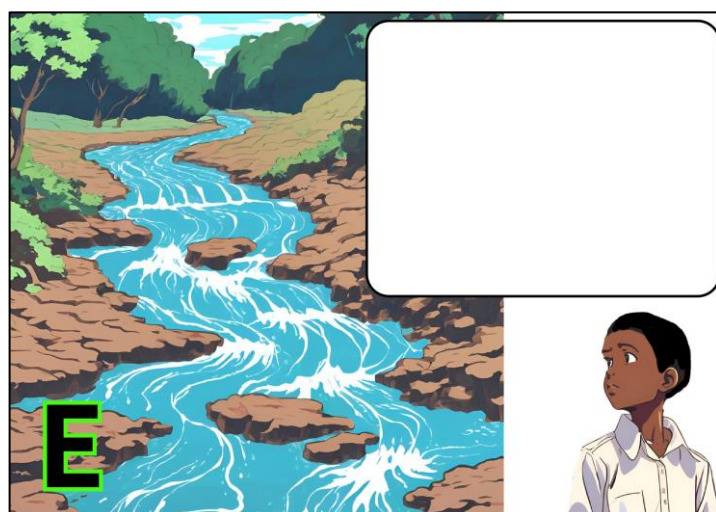
スライド内 21 ページ目



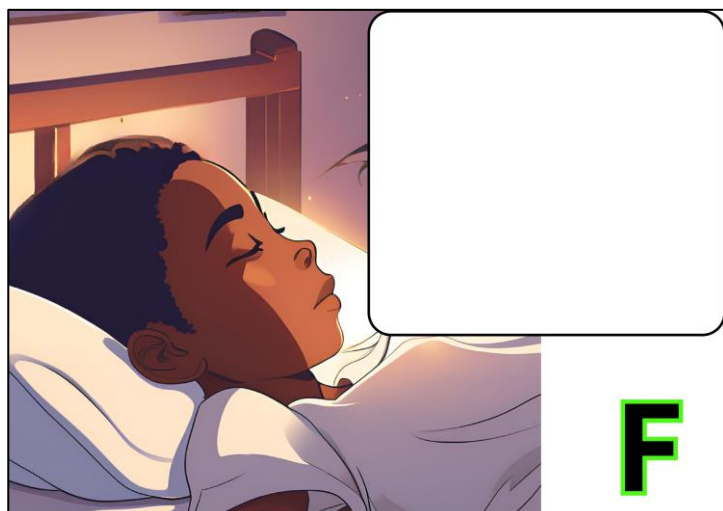
スライド内 22 ページ目



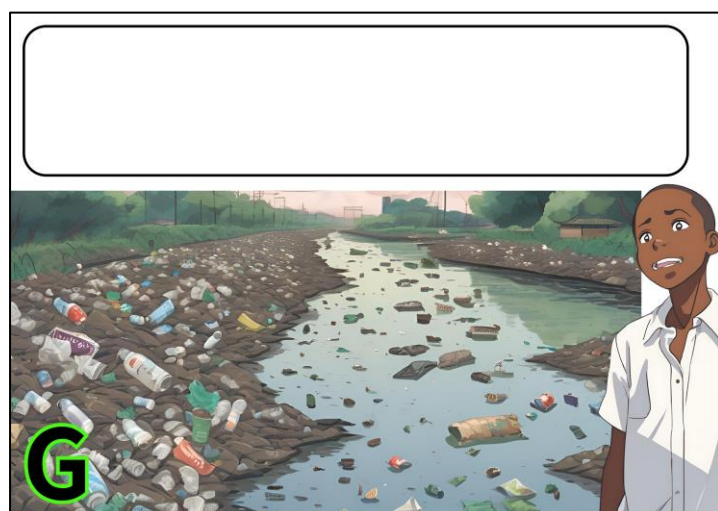
スライド内 23 ページ目



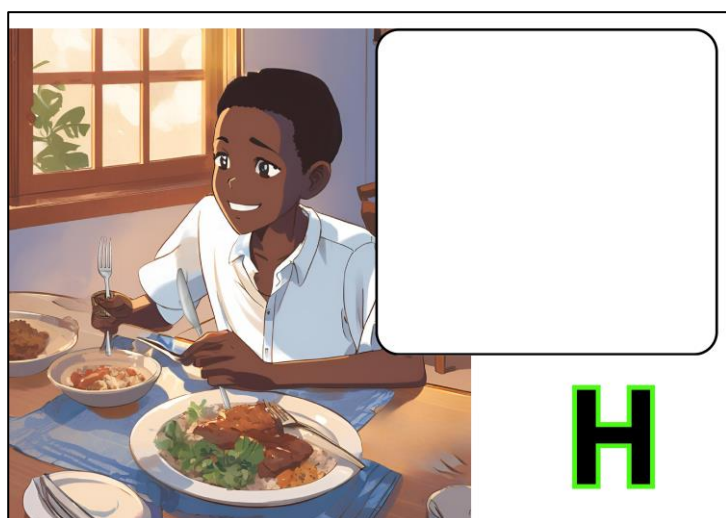
スライド内 24 ページ目



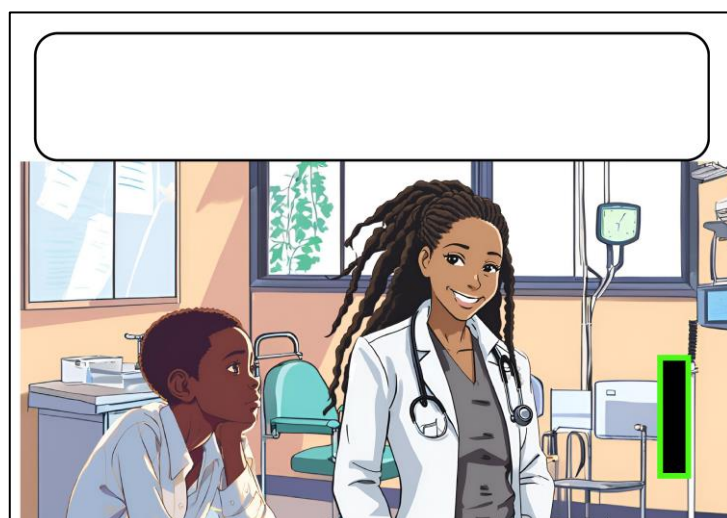
スライド内 25 ページ目



スライド内 26 ページ目

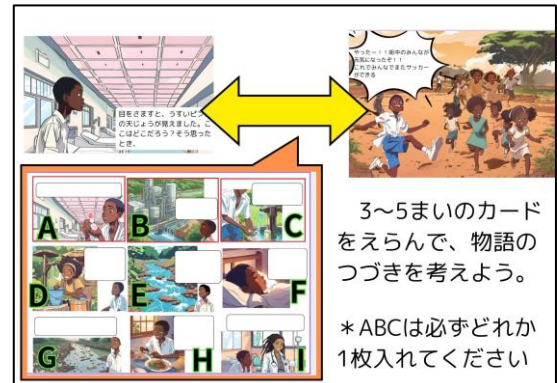
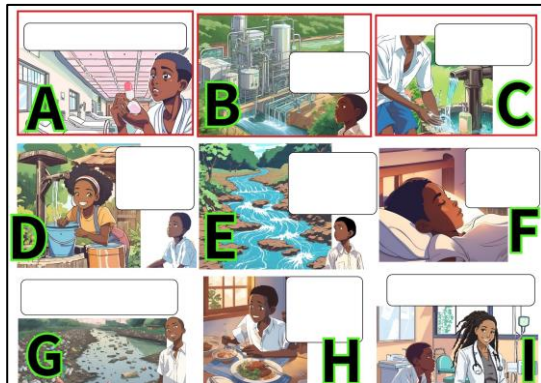


スライド内 27 ページ目



スライド内 28 ページ目

スライドの続き





参照：「ジコランガとは」17 ページ

平山先生が設定された単元名の副題
「Health living I see you」は、ジコランガ
のスローガンでもあります。

旅

の

思

い

出

わたしの一枚

タイトル： ザンビア到着翌日朝の打ち合わせ



写真を撮った場所： 宿泊先STAY EASY HOTEL ラウンジにて

朝6時前の団長です。ふざけている訳ではありません。コーヒーマシンの使い方を誤り、溢れんばかりのコーヒーをもう一つのカップで抑え、必死に運んでいます。食べ物を粗末にしない団長の心意気が素敵です。それだけでなく、東北チームとどのように研修を進めていくのか、北海道チームのメンバーの心身の状態、ザンビアでの過ごし方などについて話し合うため、この日の早朝、私はロビーに呼ばれました。今回だけでなく事前研修や帰国後研修の際も、JICA側の提案や要求にすぐに応え実行する姿勢、北海道メンバーからの無茶振りにも嫌な顔一つせず、団長としてチームをまとめてくれました。彼のリーダーシップ、周りへの気遣いや巻き込む力、素直さは、北海道チームのメンバー1人1人に何かしらの影響を与えたことは間違いありません。団長、お疲れさまでした。そしてこれからもよろしく！！

氏名： 平山 将典

学校名： 中富良野町立中富良野小学校